2024/3/21 PCLS

自主退院について

橋本市民病院 総合内科
松下　翔

自己紹介

- 卒後7年目の内科医です　主に病棟勤務
- 週4日臨床、週１日研修日をいただき
  京都大学で臨床研究を学んでいます
- 総合内科×臨床研究 を通して
  病院に患者さんの「居場所」を創ることが夢
- 臨床研究にご興味のある方、ご連絡下さい！

X(旧Twitter):
@rheumatsu22

なぜ自主退院に興味を持ったのか

- 救急外来で糖尿病性ケトアシドーシスの方を診ました
- 「家族のケアのため絶対に帰る」と帰宅

→ しかし、翌日に意識障害を来たして搬送

どうしたらよかったのか、モヤモヤが残った

https://loosedrawing.com/

本日の内容

1. 自主退院とは
2. 患者さんとの対話
3. 意思決定能力の評価
4. フォローアップ

はじめに -ある日の病棟-

主治医

点滴が必要です！

もう帰る！

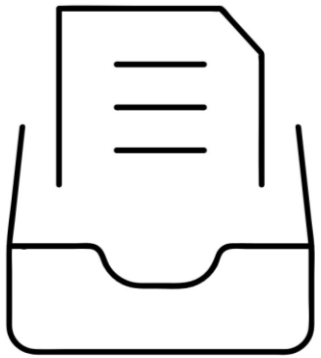
とにかく退院する！

患者さん

https://loosedrawing.com/

主治医

どうしても退院されるなら、この書類に署名下さい



「本書類は、私(患者)が担当医の助言に反して退院することを証明する。医師は退院に伴う身体的・精神的リスクがあることを説明した。
私は何かあっても病院に一切の法的責任を問わないことを誓う。」

患者さん

・・・

https://loosedrawing.com/

同様の場面に遭遇したことはありますか？
どんな感情を抱きましたか？
病院として対応は決まっていますか？

https://loosedrawing.com/illust/540/

退院後に病状が悪化したら自己責任？

１．自主退院とは

なぜ問題なのか？

自主退院とは

医師が退院を勧めるよりも先に、患者さんの意思で退院すること

英語: Patient-directed discharge, Leave before medically advised, Discharge against medical advice
＊本スライドでは「自主退院」という呼称に統一します

統一された定義がないため、実際に”自主退院”と定めるかどうかは医師の裁量による

Ann Intern Med. 2022;175:1761–1762. doi:10.7326/M22-2964

主要誌でも話題に

The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE

SUBSCRIBE OR RENEW →

This article is available to subscribers. Subscribe now. Already have an account? Sign in

CLINICAL DECISIONS

Discharging Patients against Medical Advice

Clement D. Lee, M.D., Owen Bradfield, M.B., B.S., B.Med.Sc., L.L.B., M.B.A., Michelle M. Mello, J.D., Ph.D., and Mary Catherine Beach, M.D., M.P.H.

Annals of Internal Medicine®

Search Journal

LATEST ISSUES IN THE CLINIC FOR HOSPITALISTS JOURNAL CLUB MULTIMEDIA SPECIALTY COLLECTIONS CME / MOC

Ideas and Opinions | 29 November 2022

Retiring the "Against Medical Advice" Discharge

Robert A. Kleinman, MD, Thomas D. Brothers, MD, and Nathaniel P. Morris, MD

Author, Article, and Disclosure Information

https://doi.org/10.7326/M22-2964

Full Text | PDF | Tools | Share

This Issue | Views 14,505 | Citations 21 | Altmetric 76

Viewpoint

December 11, 2013

What Is Wrong With Discharges Against Medical Advice (and How to Fix Them)

David Alfandre, MD, MSPH[1]; John Henning Schumann, MD[2]

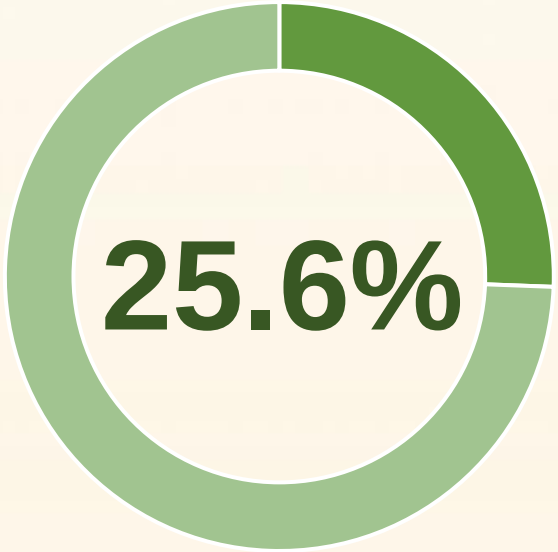
» Author Affiliations

JAMA. 2013;310(22):2393-2394. doi:10.1001/jama.2013.280887

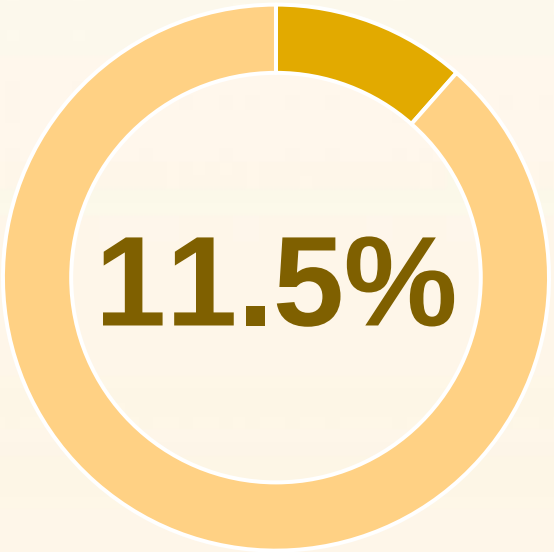
自主退院は、再入院のリスクとなる

自主退院/全退院割合

30日以内の再入院（自主退院）



30日以内の再入院（定期退院）



CMAJ. 2013 Oct 1;185(14):1207-14.

Ann Epidemiol. 2020;52:77.

自主退院のリスク因子

人口学的因子

（若年、男性）

社会経済因子

（低収入、保険の種類、ホームレス）

社会サポートの利用の低さ

物質使用障害

併存疾患

(精神疾患, 喘息, 肝硬変, HIV等)

主診断

（膿瘍）

Healthcare (Basel). 2021 Jan 21;9(2):111.

J Gen Intern Med. 2023 Dec 19.

Am J Med. 2021 Jun;134(6):721-726.

自主退院は健康格差の一つの表現型

→社会として取り組むべき課題

2. 患者さんとの対話

担当患者さんが「今すぐ退院したい」と言ってきたら？

自主退院の構造

入院治療を推奨する医療者　　ためらう患者さん

しばしば起こる対立構造を乗り越えるには？

https://loosedrawing.com/illust/540/

対立構造が生まれる背景

- 患者さんにとって、病状悪化のリスク
- 医療者にとっても、退院後に病状が悪化した場合に
  責任を追及される法的なリスク

N Engl J Med 2023; 388:1230-1232

→多くの病院では、退院時に
  “診療拒否同意書”への署名を求める

医学のあゆみ vol. 277 No. 4 2021.4.24 296-297

自主退院に対する医療者の認識

- 患者が自分の病状を理解していないという認識
- コミュニケーション不足、不信感、対立
- 患者の心配へ共感する姿勢
- プロフェッショナルとしての役割と責務

J Gen Intern Med. 2008 Oct;23(10):1698-707.

患者さんの認識 -なぜ自主退院するのか？

- アルコール/薬物を求めて (離脱)
- 疼痛コントロールを求めて
- ほかの用事がある (例: 子供の世話, 仕事)
- 待ち時間が長い
- 医師の言動に立腹
- 教育病院のセッティング
- コミュニケーションの問題

Qual Saf Health Care. 2010 Oct;19(5):420-4.

対話で解決可能な場合もある

どうしても外せない仕事があるAさんの病状:

例1) 不安定狭心症で放置すると致死的なリスクがある

例2) 蜂窩織炎/菌血症で静注の抗菌薬が望ましい
経口抗菌薬では治療失敗するリスクがある

例2)では、治療失敗のリスクも説明したうえで、
経口抗菌薬による外来通院加療も選択肢かもしれない

「退院したい」患者さんに出会ったら

- 退院したいと思う理由を聴く

  →患者さんの心配事は対処可能かもしれない

  例: 疼痛でつらい→疼痛コントロールの強化

- 外来でも治療可能か評価する

  →外来移行して治療する選択肢もあるかもしれない

Am J Med. 2021 Jun;134(6):721-726.

3. 意思決定能力の評価

Assess the decision-making capacity

対話でも解決困難な場合

どうしても外せない仕事があるAさんの病状:

例1) 不安定狭心症で放置すると致死的なリスクがある

Aさん「それでも退院する！」

患者さんは自分の意思を表明している
しかし、意思決定能力が十分でないかもしれない

意思決定能力を評価する基準

理解

認識

論理的思考

表明

Grisso T, 1998.

意思決定能力はどうやって評価する？

- 面接を通して4つの基準を満たしているか評価する
- 構造化された面接 [所要時間 約20分]

  MacArthur Competence Assessment Tool for Treatment (MacCAT-T) などのツールがある

参考: 日本意思決定支援推進機構HP →

日本語での実施例の動画がある

N Engl J Med. 2007 Nov 1;357(18):1834-40.

意思決定能力を評価するのは誰か？

A. **主治医**が評価できる

患者さんとの関係性を築いているメリットがある

・適切な情報提供が行われていることが前提

・患者さんを励まし、意思決定支援を行う

困難な症例では、精神科コンサルト

N Engl J Med. 2007 Nov 1;357(18):1834-40.

意思決定能力が不十分な場合

- **代理意思決定者**に連絡し、相談する
- 精神科へのコンサルト、同僚に助けを求める

https://www.cmpa-acpm.ca/en/education-events/good-practices/physician-patient/informed-discharge

Am J Med. 2021 Jun;134(6):721-726.

意思決定能力の評価が難しい状況

- 意思決定能力が不十分だが、全くないわけではない

→患者さんにとってリスクが生じる可能性が高い場合に特に倫理的ジレンマを生じる

- 意思決定能力の評価に同意が得られなかった場合

→可能な範囲での情報で評価

Up To Date “Assessment of decision-making capacity in adults”

4. フォローアップ

Advocate patients

意思決定能力も十分であったとき

どうしても外せない仕事があるAさんの病状:

例1) 不安定狭心症で放置すると致死的なリスクがある

Aさん「それでも退院する！」

退院するリスクを理解しており、病状を認識し、論理的思考もできていた

自主退院とするが、退院して終わり、免責の文書に署名してもらって終わりではない

自主退院する時に

“次善の策”を考える (harm reduction approach)

Canadian Journal of Emergency Medicine (2023) 25:31–42

・退院処方

・フォローアップの約束/再診の指示

・緊急受診の指示 (例: もう一度胸痛が起きたらすぐ受診してください)

https://psnet.ahrq.gov/web-mm/discharge-against-medical-advice

→再度受診することを歓迎する

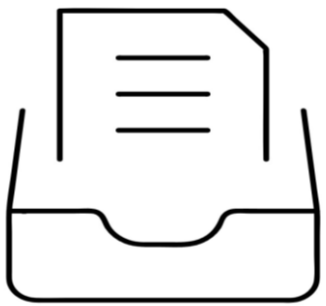
Ann Intern Med.2022;175:1761–1762.

診療録へ記載する事項

・退院に至った特定の出来事と共同意思決定の試み
(事実に基づく記載とし、感情的な言葉を避ける)
・患者さんが退院したい理由
・患者さんに入院継続するよう励ましたこと
・意思決定能力の評価
・退院処方、再診予約、緊急受診の指示

Am J Med. 2021 Jun;134(6):721-726.

いわゆる “診療拒否同意書”の是非



「本書類は、私(患者)が担当医の助言に反して退院することを証明する。
医師は退院に伴う身体的・精神的リスクがあることを説明した。
私はそのうえで個人の希望により診療を拒否する。
私は何かあっても病院に一切の法的責任を問わないことを誓う。」
→赤字は非難めいた (stigmatizingな) 表現

https://loosedrawing.com/

- 書類への同意だけで法的に守られるとは限らない
- 患者さんとのよりよい意思決定が医師を守る
- 病院のプロトコルとして使用する場合も、できるだけ中立的な言葉を使用する

Am J Med. 2021 Jun;134(6):721-726.
医学のあゆみ vol. 277 No. 4 2021.4.24 296-297.
Ann Intern Med.2021;174:HO2–HO3.

まとめ

自主退院を希望する患者さんと出会ったら

・先入観を持たず、退院を希望する理由を聴く

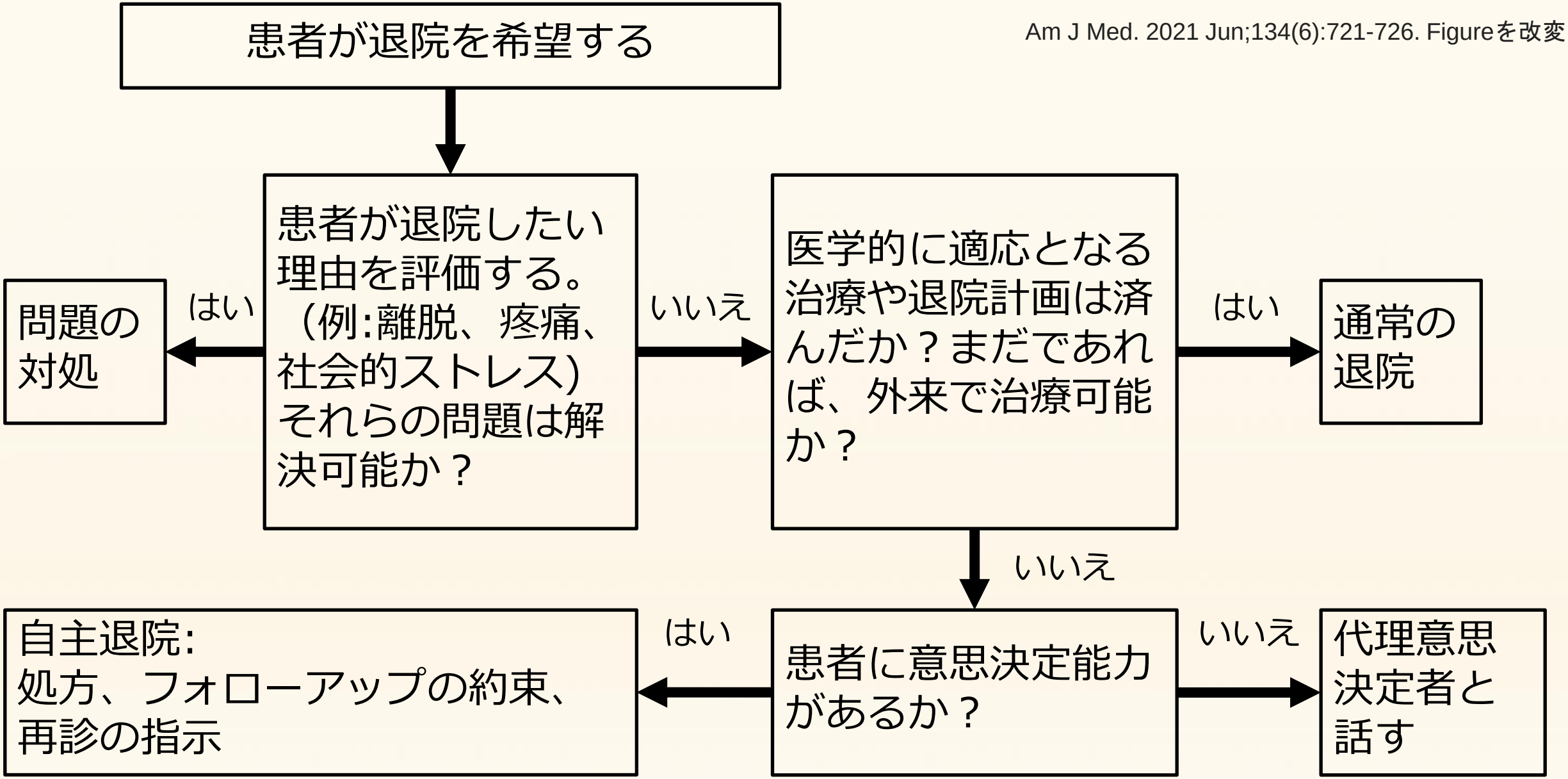
・意思決定能力を評価し、意思決定支援を行う

・次善の策を考える

・診療録を丁寧に記載する

Am J Med. 2021 Jun;134(6):721-726.

Am J Med. 2021 Jun;134(6):721-726. Figureを改変



TAKE HOME MESSAGE

- 自主退院は個人の責任だけでなく社会的課題です
- 自主退院を希望する背景に注目しましょう
- よりよい共同意思決定が患者さんと医師を守ります